



善正寺だより

〒:512-0902
 三重県四日市市
 小杉町1014
 浄土真宗
 本願寺派
 善正寺
 ☎:059-331-1670
 ☎:059-332-0733

掲示板法話

生かされて 生きるいのちの尊さよ

名もなき草に 光こぼるる

青葉、若葉の美しい季節になりました。四月から始まった朝ドラ「らんまん」(NHK)は、植物学の父と言われる牧野富太郎博士がモデルですが、ある日の放送で、「雑草という草はない」「みんな根っこでつながり合っているんだ」と主人公が言いました。

その言葉は、昭和天皇が戦後佐賀県に御巡幸された際、虹の松原に続く歩道に草が生えているのを恐縮して、「雑草が生えていて申し訳ありません」と地元案内の方が謝罪したら、陛下が「雑草という草はないのだよ」とおっしゃったと言われます。その故事を知って、「さすが植物学の研究をなさっている陛下の眼は違う。戦災で苦勞した国民一人一人にまるで仏さまのような眼で向き合っておられるのだなあ」と感銘を覚えたのでした。

だが、この度、ドラマを機縁に調べ直すと、牧野富太郎博士が在野の研究しながら皇居に招かれて、御進講の場でお話された言葉を陛下が記憶しておられ、佐賀県の御巡幸先で咄嗟に発せられたのだ、と理解されます。



(梅原真隆師)

私も小学生の頃、父の葉草採取に付き合っただけで歩いた時に、「人間は雑草だと言っただけで踏みつけにするが、みんなお日さまに照らされて光り輝いているだろう。仏さまは、どんなものもお慈悲の光で照らしてお育て頂いておられるのだよ」と語った父の話に懐かしく思い出します。

その後、父の恩師・梅原真隆先生(勸学、富山大学学長など歴任)の歌を父から教えられました。それは、

「生かされて 生きるいのちの尊さよ
 名もなき草に 光こぼるる」

という歌です。難しい仏教用語は一つもありませんが、仏さまの大慈悲の心を見事に表すお歌ですね。一切衆生は生かされ、つながり合っているいのちです。きれいな花や好きなものは大事にするが、名もなきものは踏みにじって恥ずかしいとも思わない人間の心を開き知らされまします。みんな根っこところではつながり合っているいのち、共に生かされているのですから共に大切にされなければなりません。

☆行事ご案内☆

6月の門信徒会例会 6月18日(日)午前8時半

原則として第3日曜日朝8時半より

◇抹茶 de まったりサロン



6月28日(水)午後2時

三全仏婦主催、非会員の参加も大歓迎! 200円
申し込み締切6月20日、初企画!

◇三重組仏教講習会 園淵和貴師(大阪)

6月14日(水)午後 正覚寺
15日(木)午前 西勝寺 午後 浄覚寺

◇来年(令和6)度「初参式」赤ちゃん・幼児大募集

2024年4月20日(土)午後1時
三全仏婦主催、千円、子供の健やかな成長を皆で祝福!

一線会テレホン法話 ☎059・354・1454

5時の鐘撞年中無休! 誰でも撞けますご褒美ガムチョコ

善正寺HP「三重善正寺」で検索、過去の寺報閲覧可

毎日更新ブログ住職と坊守のつれづれ日記大好評!

開設15年10ヶ月で40万7千訪問悩み相談可

新納骨堂後継者の無い方、お墓でお困りの方相談を

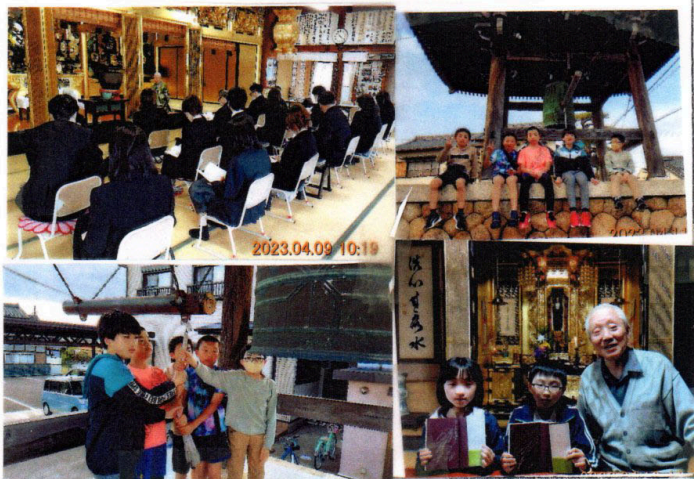
法事場所法事場所でお困りの方、本堂使用可、相談を

6月27日夜三重組連研オンライン会場 3か寺と連携

だが、人間のものさしは、好きか嫌いか、損か得か、という自己中心主義。好きか嫌いか、の判断で取捨選択すれば、孤独地獄、最後はブーメランのようになり苦しむことになる。目先の損得は、長い目で見れば持続可能ではなくなります。肥大化した欲望文明が、北極の氷を溶かし、山火事が砂漠化を招く。温暖化により、海面上昇すれば、島は水没し、人間の住むところは減っていきますね。「仏のものさし」に心の耳を傾けねばなりません。

だから、我々は仏さまの鏡の前に座り、慚愧と感謝の裡に「世の中安穏なれ、仏法広まれ」との親鸞さまの願いに立ち戻りたいものであります。

☆ 写真アラカルト ☆



坊守スケッチ

ぶれない縦軸

今やチャットGPTが人気沸騰中で、世界の第三次産業革命になるかもしれないとさえ言われています。

人間がコソコソと努力して得られた成果を、いくつかの条件を入力すれば、即座に文章が作成できて、さも本人が作ったかのような回答を得られる仕組みです。これで作った小学生の読書感想文が全国一位に入選したのですから、専門家でも騙せる出来栄に驚きです。しかし便利なモノには意外な落とし穴があり、ウソは必ずバレ、消えて無くなるか、浮き沈みが激しいのが現実です。

ところで京都大学経済学部研究科教授竹林一先生が、NHKラジオで興味深い話を紹介して下さいました。

「現在世界には百年以上続くベンチャー企業が7万数千社あります。その内の半分の3万数千社が日本にあり、その大半が京都に存在します。百年どころか、千年以上続く老舗もあります。

例えば京都今宮神社前の餅屋さんがある一例です。平安時代に疫病が大流行して、疫病退治祈願の為に、その餅屋さんは、毎朝つきたての新しいお餅を神社に奉納しました。前日にお供えして固くなった餅の処理に困り、それをあぶり餅やかき餅として提供したところ、参詣者に評判になりました。



「ウチには二つのカギヨウウがあります。先祖代々毎朝餅をお供えする役目の『家業』。そして家族が生活をするためにそれを生業として売る『稼業』。コロナも僅か三年の辛抱です。観光客が京都へ殺到するのも、戦後高々七十年程です。千年の歴史から見れば、大きな出来事ではありません。二つのカギヨウのぶれない軸があるからこそ、長く続けられるのです」と語りました。

思えばお寺の世界でも『仏法』というぶれない縦軸があります。親鸞聖人の浄土真宗のみ教えが、八百年の時空を超えて伝えられた。先祖の命がけの尽力に思いを馳せ、今の私達が子孫にどのように伝えればよいのかが、問われているように思えてなりません。

お悔み申し上げます

★森嶋郁子様(71) 5月3日往生、東阿倉川 合掌

抹茶サロンお誘い&赤ちゃん募集

※6月28日(水)午後2時「抹茶deまったりサロン」三全仏編初企画非会員でも自由に参加OK。二百円。申し込み締切

6月20日。両寺か三役が班長まで!

※来年4月20日(土)1時三全仏編主催「初参式」の赤ちゃん・幼児大募集。

来年ですが奮ってご参加下さい。千円

若坊守の子育て日記No.101号

四月になり、我が家の子どもたちは六年生と三年生に進級しました。

登校日には新一年生が男の子ばかり三人も加わりました。相変わらず長女は紅一点なのですが、みんな元気に登校していきます。

その新一年生のなかのT君のお母さんが「ランドセルの中で水筒からお茶が漏れて、教科書もノートもびちゃびちゃになって困った。」と嘆いておられました。我が家でも経験済みのことでしたので、「あるある、やるやる。」と他のお母さん達とも共感しきりでした。みんな大なり小なり失敗しながら成長していくものです。

こちらの小学校では「一年生を迎える会」が三年ぶりに全児童が体育館に集まって行われました。お便りの写真を見るとぎっしりと児童が映っていて、久しぶりの光景に嬉しさを覚えしました。以前はそれが当たり前だったのに、この三年間がその当たり前を子供達から奪っていたのだと実感します。マスクについては、着けている子とそうでない子、色々ですが、夏が近づき暑くなれば、自然と着けない子が増えるのではないのでしょうか。子ども達が自然な顔で笑い合える日が早く来てほしいものです。



俳壇・法歌

選挙戦春風にのる声しきり 釋妙水

鯛焼や目出度き添えて一年生

爽やかな臭味のこるや鞆豌豆

鶯の声もカメラに収めけり 釋榮邦

熊野路や四方八方山笑う

大海に胸膨らませ鯉のぼり

薄紅の花びら揺れる花みずき 釋住安

げんげ田で角力とる子は兄弟か

幼子がたんぽぽの絮追いかけし

烏雲に明治の父の日記帳 釋普教

蜘蛛の囿に一片の羽ありにけり

豌豆をつつく烏や屋根の上に

教材の採点待つ初夏の夕 釋秀龍

初夏のあさ給食表を貼りかえり

新緑やバドミントンの音かすか

豊かさや土振るいつつ菊根分 釋清風

春の夢もの言わぬまま覚めにけり

春塵や視界不良の娑婆世界

親からの連続無窮のみ教えは

孫子に伝わる 釋寿正

慶びの法要飾るご本典 「ひそかに

おもんみれば」繰返し称える

句報の法話の記事を拝読す

最期のみ言葉釈尊憶う

★ 編集子より ★

「善正寺だより」354号をお届けします。◇本願寺の法要は5・21無事

円成しましたが、続いて高田本山の法要。三重県立博物館の「高田本山と親

鸞」展は六月十八日まで開催。ご一覽お勧めです。◇晩年までエネルギーに著作に励まれた親鸞さま。我々も

見習って、日々精一杯努めたいですね。

連休明けから又クが解禁になり、コロナの恐怖も和らぎました。依然先行不透明な不安感が漂います。ロシアのウクライナ侵攻は一向に治まらず世界の分断はより深刻です。親鸞聖人の時代も身近で戦乱が頻発し、疫病は大流行し、庶民は生きるのに精いっぱいでした。苦しい声も上げられず、ひたすら仏様を信じる以外に術はありませんでした。京都今宮神社前のあぶり餅屋さんを、家業と稼業の二つのカギ^{カギ}を守り通した「ぶれない縦糸」として坊守スケッチで紹介しましたが、ここでは別の老舗企業を紹介します。京都と言えは西陣織が有名です。最近では日本人でも着物を着る機会が少なくなり、西陣織の織りさぞかしピンチかと思いきや、新たな活路を見出した老舗メーカーです。フランスのシヤネルやティオールと提携して、西陣織の伝統を生かして高級外車の内装に取り入れる工夫をして、珍しいもの好きな外国人には大好評です。「ぶれない縦糸があるからこそ、時代や社会と共に変化する横糸が入られるのです」と経営者のナレンジ精神に敬服です。私達の伝統教団も親鸞聖人のご法要を機会に、新たな横糸とを取り入れる勇氣と行動力が望まれます。この寺報やブログの情報発信は、私達のマシヤやかな横糸です。皆様の温かいご支援があつてこそ縦糸も生かされます。今後共々よろしくご協力下さいませ。また三全仏教婦人会主催の6月28日(水)PM2時の抹茶会もまたり茗山のご参加をお待ちしています。非会員の方も大歓迎です。絆が希薄になる昨今、集いの喜びを共有しよう。

合掌

令和五年六月

善正寺坊守 伴